一人の 学びを 支援するために



「新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた学校運営」では、学校単位での臨時休業や、学年・学級単 位での自宅学習をせざるを得ない状況になる事態が発生することを想定し、オンライン等による学習支援を 行える体制を整えておくことが求められています。

今後の感染再拡大により、学級閉鎖で集団への指導が必要な場合や自宅待機で個別の支援が必要な場合に は、子どもたちの学びを保障する手立ての一助として、次の教材が活用いただけます。

岐阜県教育委員会 学校支援課

学級(学年)閉鎖時の支援 → 【例】小学校では「NEW! GIFU ウェブラーニング」が有効!

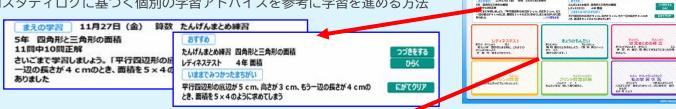
小学校算数のクラウド教材「NEW! GIFU ウェブラーニング」は、自宅待機中でも、児童が自己選択・自己調整 しながら学習を進めることができるように設計されています。



- ■例えば、このような活用が考えられます! その(1)
 - ・「NEW! GIFU ウェブラーニング」で、学級の児童を対象に、次単元の「レディネステスト」を実施すれば、児 童は既習内容を想起することができます。そして、教員は、学級再開後の実態把握に生かすことができます。

他にも、次のような利用が可能です。

■スタディログに基づく個別の学習アドバイスを参考に学習を進める方法



■定着状況等に応じて学習コースを選択する方法

(レディネステスト)

次に学習する単元に関連 する既習単元を復習

(きょうのもんだい

全学年全単元全時間分の 練習問題で復習

単元まとめの練習

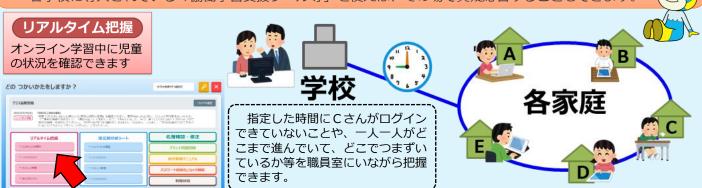
単元終了後に学習した内 容の定着状況を確認

チャレンジ問題

どの つかいかたをしますか?

定着状況が高く、難問に 挑戦したい児童に最適

- ■例えば、このような活用が考えられます! その②
 - ・「GIFU ウェブラーニング」を利用する時間を指定して、その指定した時間に児童も教員も一斉に利用することで、教員は職員室にいながら、児童の学習の様子を「リアルタイム」に把握することができます。
 - ・各学校に導入されている「協働学習支援ツール等」を使えば、その場で質疑応答することもできます。

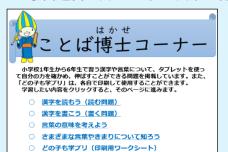


【リアルタイム把握の画面の見方】 ※「再表示」ボタンを押すたびに最新の情報に更新されます。



自宅待機者への支援 → 【例】「ことば博士コーナー」で苦手を克服!

「ぎふっこ学び応援サイト」に掲載の本コーナーでは、児童生徒がタブレット端末等から、学校や家庭において個々の学習進度に合わせて、「言葉の特徴や使い方」に関する問題を選択して取り組むことができます。



<URL>

https://www.pref.gifu.lg.jp/page/178242.html

<二次元コード>





「漢字」・「言葉の意味を考えよう」 小学校第1学年から第6学年の各学年で学 習する言葉を取り入れています。



「さまざまな言葉やきまりについて知ろう」 「主語・述語の関係」、「修飾語」、「敬語」「慣用句」 などの問題を取り入れています。



「どの子も学プリ」(PDF) 漢字の読み書きの問題があります。

- ■例えば、このような活用が考えられます!【例】協働学習支援ツールを使って個々の学習進度に合わせた課題提示!
 - ①教員が取り組ませたい問題をダウンロードして児童生徒に配信します。
 - ②児童生徒は、手書き機能を使って直接書き込みをし、教員に提出します。
 - ③教員は、放課後などに定着度を確認し、価値付けをしたり、次の支援に生かしたりします。

「ぎふっこ学び応援サイト」には、外国人児童生徒への支援として次の内容を掲載しています。

- <u>日本語学習応援コーナー</u> <URL>https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/61930.html
 - ・ 初期の日本語を学ぶための「にほんごワークブック」(ポルトガル語版・タガログ語版・中国語版)

岐阜県教育委員会は、これらの教材を通して、児童生徒の学習を支援しています。 新型コロナウイルス感染拡大時の「学びの保障」の一環として、ぜひ御活用ください! <二次元コード> **回窓表記**回

